実務経験のある教員等による授科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

実務経験のある教員等による授業科目の 授業計画書(シラバス) 《省令で定める単位数等の基準数相当分》

実務経験のある教員等による授業科目(省令で定める基準単位数又は授業時数のみ)

課程	学科	授業科目	担当教員	実務経歴	教育内容	授業時間数合計
		環境工学A/B	中 美加子	設計事務所所長	建築内環境を計画する際に 必要な要素を理解し、実際 にどのように使われている のかを知る。	60
工業専門課程	建築科	構造力学 1 A/B	浅野 清昭	構造事務所所長	構造の専門家より構造力学の基礎である力とは何か? また、構造体の支点に生じる反力等を学ぶ。	60
		建築法規A/B	高橋 完実	設計事務所所長	経験を踏まえ、建築基準法 等の建築法規について学習 する。	60
一类市田細和	建築科	建築材料	杉江 崇	建築事務所所長	建築材料の物理的、化学的性質、製法、その他特性を知り、コンクリート、鋼材等の適材適所の使用を理解する。	38
工業専門課程	宝 建築科 二部	建築施工法A/B	濱野 豪	施工管理	現場経験者より建築の生産 の基本、順序、施工技術を 学ぶ。	78

建築料

	【科目名】	【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
		1年前期	必修		+ * 5
11A	環境工学A	【週時間数】	【単位数】	30	中 美加子 (実務経験有)
		2	2		(大切性状行)

私たちを取り巻く自然現象についての理解を深め、建築の設計に必要な知識を身につけます。

【授業の概要】

教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。光と音について、「基本的な考え方」を学び、身の 回りの様々な現象について「なぜ、そうなるのか」を考えます。

【授業内容·授業計画】

- 1 建築環境工学の概要
- 2 太陽の動き
- 3 日照・日影
- 4 日射
- 5 採光-その1
- 6 採光-その2
- 7 照明
- 8 色彩
- 9 音の性質
- 10 音の単位
- 11 室内音環境
- 12 騒音と振動
- 13 室内音響
- 14 前期まとめ
- 15 試験
- 16 試験問題の解答と解説
- 17 補習
- 18 補習

【成績評価】

試験の結果で評価します。

【テキスト】

「基礎講座 建築環境工学」(学芸出版社)

	【科目名】	【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
	1年後期	必修			
11B	環境工学B	【週時間数】	【単位数】	30	中 美加子 (実務経験有)
		2	2		

私たちを取り巻く自然現象についての理解を深め、建築の設計に必要な知識を身につけます。

【授業の概要】

教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。熱や空気について学び、快適な温度の基準や断 熱や結露のしくみについて考えます。

【授業内容·授業計画】

- 1 外部気候
- 2 室内気候
- 3 伝熱
- 4 熱貫流
- 5 室内への熱の出入り
- 6 断熱その1
- 7 断熱その2・蓄熱
- 8 湿気・結露
- 9 室内の空気汚染
- 10 室内換気
- 11 換気計画その1
- 12 換気計画その2
- 13 都市環境
- 14 後期まとめ
- 15 後期試験
- 16 試験問題の解答と解説
- 17 補習
- 18 補習

【成績評価】

試験の結果で評価します。

【テキスト】

「基礎講座 建築環境工学」(学芸出版社)

	【科目名】	【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
		1年前期	必修		〉 と 四マ ◇主 □刀
13A	構造力学1 A	【週時間数】	【単位数】	30	浅野 清昭 (実務経験有)
		2	2		(大物性状门)

構造力学の基礎である力を理解し、様々な構造体の支点に生じる反力を力の釣り合い式によって算定する方法を学習する。.

【授業の概要】

カとは何かを、身近な現象を通して理解し、力の釣り合いによって構造物が成立していることを 理解する。また、様々な構造体の特徴を理解し、それらの構造物の支点に生じる反力・部材の中 に生じる力の算定方法を学習する。

【授業内容·授業計画】

- 1 力・力のモーメント
- 2 力の釣り合い1
- 3 力の釣り合い2
- 4 力の基礎のまとめ
- 5 中間試験
- 6 反力(単純梁)
- 7 反力(片持ち梁)
- 8 反力(張り出し梁・ラーメン)
- 9 反力のまとめ
- 10 応力(集中荷重)
- 11 応力(分布荷重)
- 12 応力(モーメント荷重)
- 13 応力のまとめ
- 14 前期のまとめ
- 15 試験
- 16 試験問題の解答と解説
- 17 補習
- 18 補習•追試験

【成績評価】

試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。

【テキスト】

改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
		1年後期	必修)长 mマ (注 n 77
13B	構造力学1 B	【週時間数】	【単位数】	30	浅野 清昭 (実務経験有)
	147年75日 1日	2	2		

構造力学1Aで学習した反力をもとに、カ(外力)によって構造体(部材)内生じるカ(応力・応力度)を理解し、その算定方法を学習する。.

【授業の概要】

構造物の中に生じる力(応力・応力度)にはどのようなものがあり、どのように生じているのかを理解する。また、許容応力度設計の概要について学習する。

【授業内容·授業計画】

- 1 前期の復習
- 2 梁の応力
- 3 ラーメンの応力
- 4 3ヒンジラーメンの反力と応力
- 5 応力のまとめ
- 6 中間試験
- 7 断面1次モーメント・図心
- 8 断面2次モーメント・断面係数
- 9 断面のまとめ
- 10 軸応力度・伸び
- 11 曲げ応力度・せん断応力度
- 12 許容曲げモーメント
- 13 組み合わせ応力度
- 14 後期のまとめ
- 15 試験
- 16 試験問題の解答と解説
- 17 補習
- 18 補習・追試験

【成績評価】

試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。

【テキスト】

改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)

	【科目名】	【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
		2年前期	必修		古塔 中中
23A	建築法規A	【週時間数】	【単位数】	30	高橋 完実 (実務経験有)
		2	2		

建築基準法をはじめとする建築法規について基本的事項を理解する。

【授業の概要】

建築基準法の集団規定と単体規定について学習する。

【授業内容·授業計画】

- 1 集団規定、単体規定
- 2 建築基準法の基本定義
- 3 建築確認申請の手続き
- 4 道路の定義、道路の規制
- 5 用途地域による建築物の制限
- 6 小テスト1
- 7 建築面積, 建ペい率の制限
- 8 延べ床面積、容積率の制限
- 9 高さ制限、日影規制
- 10 演習問題
- 11 小テスト2
- 12 防火、準防火地域、耐火、準耐火建築物
- 13 防火区画、内装制限
- 14 まとめ
- 15 試験
- 16 試験問題の解答と解説
- 17 補習
- 18 補習

【成績評価】

出席状況及び小テスト、期末試験の成績により評価する

【テキスト】

「図説 やさしい建築法規」(学芸出版社) 「建築関係法令集 法令編 2022」(総合資格学院)

	【科目名】	【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
		2年後期	必修		古怪 中中
23B	建築法規B	【週時間数】	【単位数】	30	高橋 完実 (実務経験有)
		2	2		

建築基準法をはじめとする建築法規について基本的事項を理解する。

【授業の概要】

建築基準法を中心に、建築士法、都市計画法、消防法、バリアフリー法について学習する。

【授業内容·授業計画】

- 1 集団規定、単体規定、階段
- 2 階段、傾斜路、2以上の直通階段が必要な建物
- 3 歩行距離、廊下、非常用進入口、非常用照明
- 4 小テスト1
- 5 居室の採光、換気、排煙(ALVS)
- 6 天井高、地階、シックハウス
- 7 小テスト2
- 8 構造計算、構造設計
- 9 木造建築の構造規定
- 10 鉄筋コンクリート、その他の建築構造
- 11 小テスト3
- 12 建築士法、建設業法
- 13 都市計画法、消防法、バリアフリー法
- 14 まとめ
- 15 試験
- 16 試験問題の解答と解説
- 17 補習
- 18 補習

【成績評価】

出席状況及び小テスト、期末試験の成績により評価する

【テキスト】

「図説 やさしい建築法規」(学芸出版社) 「建築関係法令集 法令編 2022」(総合資格学院)

建築科二部

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
		1年後期	必修		+/ - +-
17	建築材料	【週時間数】	【単位数】	38	杉 江 崇 (実務経験有)
	连条约杯	2	2		

建築材料の物理的、化学的性質、製法、その他特性を知り、適材適所の使用を理解する。

【授業の概要】

コンクリート、鋼材を中心にその他材料を取り扱う。実物サンプルや実験データ、実例写真等を通して、体系的に学習する。

【授業内容·授業計画】

- 1 コンクリートの概要/セメント
- 2 骨材/水/混和材料
- 3 コンクリートの性質/圧縮試験
- 4 コンクリートの調合設計
- 5 コンクリートの種類/製品
- 6 鋼材の概要/製鋼の工程
- 7 製鋼の特徴/種類
- 8 鋼材の性質
- 9 鋼材の腐食と防食/鋼材の規格
- 10 非鉄金属
- 11 ボード類/プラスチック材料
- 12 塗料、接着剤/シックハウス
- 13 性能別材料
- 14 まとめ・演習
- 15 試験
- 16 試験問題の解答と解説
- 17 補習
- 18 補習•追試験

【成績評価】

試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。

【テキスト】

改訂版「図説やさしい建築材料」(学芸出版社)

	【科目名】	【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
		2年前期	必修		
18A	建築施工法A	【週時間数】	【単位数】	40	浜 野 豪
		2	2		

建築の生産の基本、順序、工事別の施工技術を理解し、建築の品質向上に努める。

【授業の概要】

工事順序に従った授業を行い、各工事の施工ポイントを理解する。また、施工図を描くことで建物を造ることへの理解と関心を深める。

【授業内容·授業計画】

- 1 施工について
- 2 施工管理、施工計画
- 3 仮設工事
- 4 地盤調査
- 5 土留め
- 6 基礎工事
- 7 鉄筋工事
- 8 型枠工事
- 9 コンクリート工事
- 10 鉄骨工事
- 11 前期試験
- 12 補講
- 13 施工図1(木造伏図)
- 14 "
- 15 "

【成績評価】

試験による成績に、出席状況、課題点を加味する。

【テキスト】

「専門士課程 建築施工」(学芸出版社)

	【科目名】	【履修学年】	【必修選択】	【総時間数】	【担当教員】
		2年後期	必修		
18B	建築施工法B	【週時間数】	【単位数】		浜 野 豪 (実務経験有)
		2	2		(大物性状件)

建築の生産の基本、順序、工事別の施工技術を理解し、建築の品質向上に努める。

【授業の概要】

工事順序に従った授業を行い、各工事の施工ポイントを理解する。また、施工図を描くことで建物を造ることへの理解と関心を深める。

【授業内容·授業計画】

- 1 組積工事
- 2 防水工事
- 3 木工事
- 4 屋根工事
- 5 左官工事
- 6 石、タイル工事
- 7 塗装、内装工事
- 8 建具工事
- 9 施工図3(建具廻り原寸図)
- 10 "
- 11 "
- 12 後期試験
- 13 補講

【成績評価】

試験による成績に、出席状況、課題点を加味する。

【テキスト】

「専門士課程 建築施工」(学芸出版社)